

科名 外科

対象疾患名 治癒切除不能な進行・再発胃癌

プロトコール名 RAM+IRI

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	14
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓			
2	点滴注	側管①	パロノセトロンバッグ デキサート ネオレスタール	0.75mg 9.9mg 10mg	30分かけて	↓			
3	点滴注	側管②	サイラムザ 生理食塩水	8mg/kg 250mL	初回60分、2回目以降忍容性が良好であれば30分 2回目まで1時間休薬要。全量250mLとする	↓			
サイラムザ投与時はルートキープにて1時間休薬									
4	点滴注	側管③	カンプト注 生理食塩液	150又は120mg/m ² 250mL	2時間かけて	↓			

1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<サイラムザ>

投与前後生食フラッシュ蛋白質透過型フィルター(0.2または0.22ミクロン)(回路名:JY-PF340P52)使用

1回目、2回目はインフュージョンリアクションの観察のため投与後1時間ルートキープにて休薬する。3回目以降は省略可

用量規定因子:高血圧、蛋白尿

<カンプト>

UGT1A1遺伝子多型を測定し、*6,*28のホモ接合またはヘテロ接合の場合は120mg/m²とする。